

平成26年度 上半期収支状況

一般会計、特別会計等の平成26年度上半期（４月～９月）分の収支状況は次のとおりとなっています。

平成26年9月30日現在

区 分	当初予算額	補 正 額	予算現額	収入済額	支出済額
一 般 会 計	398億5,000万円	72億8,985万4千円	471億3,985万4千円	186億2,288万4千円	124億6,811万5千円
国民健康保険特別会計	25億6,200万円	8,744万5千円	26億4,944万5千円	10億509万3千円	9億6,995万5千円
後期高齢者医療特別会計	1億6,100万円	0円	1億6,100万円	4,213万9千円	2,565万7千円
介護保険特別会計	15億6,400万円	5,081万6千円	16億1,481万6千円	7億5,639万3千円	6億1,697万8千円
居宅介護支援事業特別会計	1,720万円	0円	1,720万円	1,260万円	812万2千円
市場事業特別会計	2,050万円	0円	2,050万円	1,661万5千円	994万4千円
漁業集落排水事業特別会計	1,470万円	0円	1,470万円	1,104万5千円	632万3千円
公共下水道事業特別会計	2億4,700万円	0円	2億4,700万円	1億5,037万3千円	1億4,363万2千円

平成26年度一般会計当初予算は398億5千万円となり、復旧・復興関連事業予算が約331億円と予算全体の83パーセントを占めておりました。さらに、東日本大震災復興関連事業等の追加により、９月末までの予算現額は471億3985万4千円と、予算規模はさらに大きくなっています。

主なものとして、防災集団移転促進事業や災害公営住宅整備事業等の復興関連予算事業となっています。その他にも、災害対策長期派遣事業や道路、河川、漁港施設、学校の各種公共施設の災害復旧事業、雇用創出関連事業が行われており、財源としては、国、県の補助金や負担金、地方交付税、町債、基金などを充てています。

公共下水道事業特別会計では、前年度と比較して当初予算が約4700万円増額しています。これは志津川浄化センター施設の災害復旧事業（約7600万円）を行うことによるものです。

一般会計、特別会計等の平成26年度上半期（４月～９月）分の収支状況は次のとおりとなっています。

企業会計区分			予算現額	収支済額
水 道 事 業 会 計	収益的	収入	4億3,575万6千円	1億7,625万3千円
		支出	4億1,961万7千円	7,907万円
	資本的	収入	19億6,587万円	9,000万円
		支出	21億9,425万円	2億9,473万6千円
病 院 事 業 会 計	収益的	収入	12億8,449万8千円	4億5,403万8千円
		支出	12億9,500万円	5億9,790万6千円
	資本的	収入	8億4,716万2千円	4億6,250万円
		支出	8億4,716万2千円	4億6,244万3千円
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 事 業 会 計	収益的	収入	5,133万2千円	2,674万8千円
		支出	5,133万2千円	2,391万円

【水道事業】

上半期は、営業収益において水需要と給水装置新設工事等の増加により水道料金、検査手数料等が予算を超えています。また、支出においては、平成24年度から実施している町独自の水道給水装置設置費補助申請が被災者の再建の増加とともに伸びてきており、41件、1190万円の交付額となっています。災害復旧事業については、新水源の建設、配水管等の布設など10億円を補正、総額16億円とし、他の復旧事業の進捗に併せ随時発注、着工しております。

【病院事業・訪問看護ステーション事業】

病院事業においては、昨年度に引き続き外来機能を町内に、入院機能を登米市の旧米山病院の病棟施設を借用し、地域に必要な医療の確保を図りながら、収益の増に向け経営努力を行っております。また、再建いたします（仮称）町立南三陸病院の建設については、平成27年度の開院に向け工事が順調に進んでいる状況であります。

訪問看護事業においては、利用者、収益ともに前年度に比べ増加傾向にあることから、今後も事業回復に向け利用者確保に努めます。

平成25年度 特別会計・企業会計決算

特 別 会 計 区 分	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出差引残額
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	27億6,331万円	26億572万1千円	1億5,758万9千円
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	1億3,809万円	1億3,350万2千円	458万8千円
介 護 保 険 特 別 会 計	14億9,994万2千円	14億4,912万4千円	5,081万8千円
居 宅 介 護 支 援 事 業 特 別 会 計	1,757万円	1,663万7千円	93万3千円
市 場 事 業 特 別 会 計	2,808万5千円	2,105万9千円	702万6千円
漁 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	5,066万9千円	4,933万9千円	133万円
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	2億1,491万1千円	2億1,186万5千円	304万6千円

企 業 会 計 区 分			予 算 額	決 算 額
水 道 事 業 会 計	収益的	収 入	4億1,416万3千円	4億934万7千円
		支 出	4億1,341万円	3億9,828万2千円
	資本的	収 入	1億8,430万6千円	1億3,068万7千円
		支 出	3億7,968万円	3億2,331万9千円
病 院 事 業 会 計	収益的	収 入	14億6,958万8千円	14億4,819万5千円
		支 出	13億2,200万円	12億4,540万9千円
	資本的	収 入	1億4,032万1千円	1億4,032万1千円
		支 出	1億4,032万円	1億4,032万円
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 事 業 会 計	収益的	収 入	5,727万3千円	4,837万1千円
		支 出	5,727万3千円	4,913万5千円

借入金（町債・企業債）の状況

町では、公共施設を整備するために借入金などで資金を調達しています。

一般会計では、前年度に引き続き、災害援護資金貸付事業（8627万円）の借り入れを行い、他にも、防火水槽の設置や消防小型動力ポンプ積載車の購入などの防災対策整備事業（2130万円）の借り入れも行いました。また、新たに災害公営住宅建設事業（4,340万円）の借り入れを行い、借入総額は6億7383万円となりました。借入総額のうち、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債の借入額は3億円で、実に44.5パーセントを占めています。

他会計においては、平成25年度の借り入れは行いませんでした。

一般会計においては、平成20年度から借入額が償還額を下回っており、地方債現在高も平成19年度をピークに下がり続けています。公営企業会計においても、借り入れを行わなかったことから、町としての平成25年度末現在高の合計額が143億6619万円となり、前年度末から8億264万2千円減少しています。

区 分	平成24年度末現在高	平成25年度借入額	平成25年度償還額	平成25年度末現在高
一 般 会 計	98億1,621万8千円	6億7,383万円	10億9,981万8千円	93億9,023万円
市 場 事 業 特 別 会 計	1億1,446万円	0円	1,394万5千円	1億51万5千円
漁業集落排水事業特別会計	1億2,633万5千円	0円	694万5千円	1億1,939万円
公共下水道事業特別会計	19億4,691万9千円	0円	1億590万8千円	18億4,101万1千円
水 道 事 業 会 計	25億7,694万9千円	0円	1億7,965万5千円	23億9,729万4千円
病 院 事 業 会 計	5億8,795万1千円	0円	7,020万1千円	5億1,775万円
合 計	151億6,883万2千円	6億7,383万円	14億7,647万2千円	143億6,619万円

町が所有する主な財産						
基 金	山 林	土 地	建 物	車 両	出資による権利	有価証券
						
62,966,902,701円	25,989,728㎡	4,723,059㎡	82,965㎡	157台	114,243,000円	14,361,934円